

平成 30 年 4 月 24 日
九州地方整備局
大隅河川国道事務所

平成 30 年土石流調査情報（桜島地域） 第 9 報（臨時報告）

（通算第 196 号）

1 土石流の発生状況

平成 30 年 4 月 14 日に桜島の 3 河川（野尻川・有村川・黒神川）において土石流が発生しました。

土石流は砂防設備内を安全に流下しており、被害はありませんでした。

なお、今後鹿児島地方気象台及び鹿児島県より土砂災害警戒情報が発表されるような大雨が降るような場合には、土石流やがけ崩れが発生する恐れがありますので、土砂災害警戒区域が指定されている地域では十分警戒が必要です。

河川名	発生日時	発生状況
野尻川	平成 30 年 4 月 14 日 20 時 49 分	河床より 120cm ワイヤーセンサー 2 段目切断
有村川	平成 30 年 4 月 14 日 20 時 52 分	河床より 60cm ワイヤーセンサー 1 段目切断
黒神川	平成 30 年 4 月 14 日 21 時 15 分	河床より 60cm ワイヤーセンサー 1 段目切断

2 降雨状況

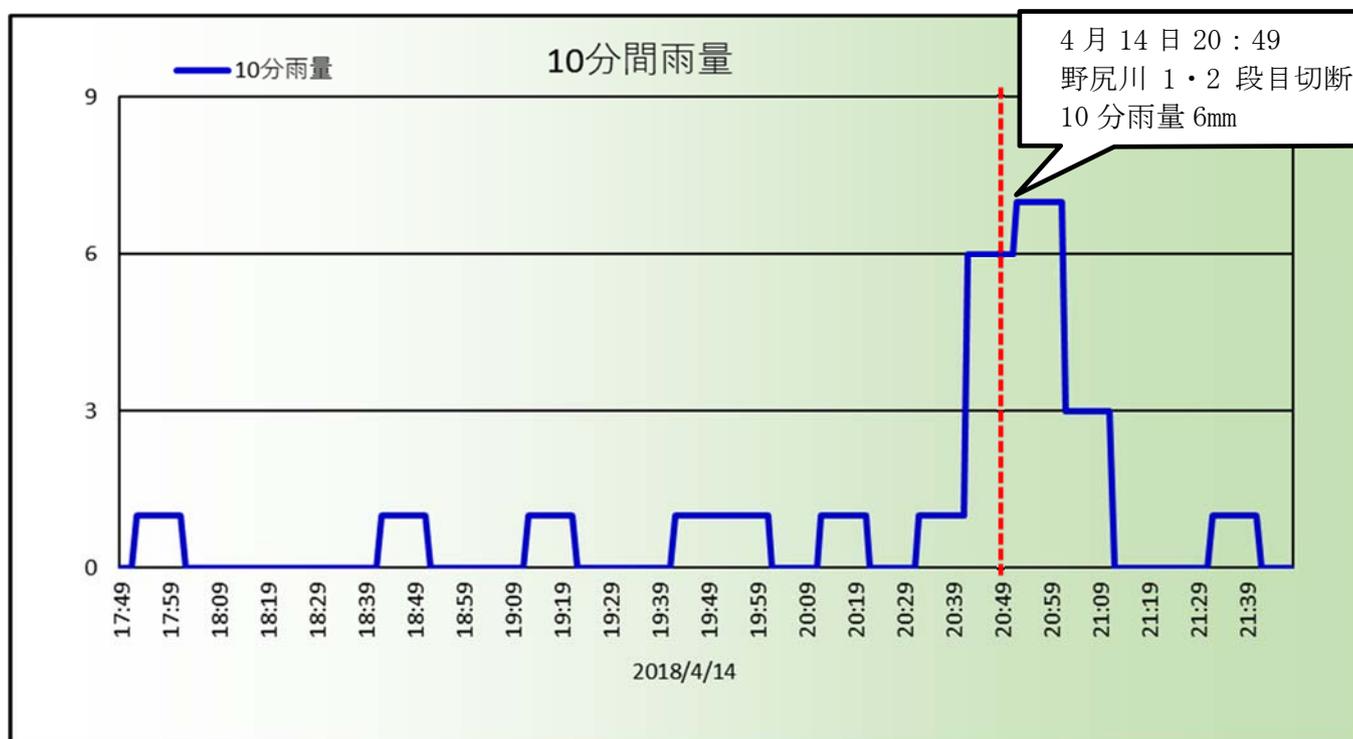
土石流が発生するまでの雨量状況は以下のとおりです。

河川名	観測所名	発生状況	10分雨量	1時間雨量	連続雨量
野尻川	野尻川雨量観測所	1・2 段目切断	6mm ^{図1}	9mm	27mm
有村川	有村川雨量観測所	1 段目切断	2mm	6mm	25mm
黒神川	黒神川雨量観測所	1 段目切断	3mm	20mm	50mm

※ 10分間雨量及び1時間雨量は、ワイヤーセンサー切断時刻の直前10分間もしくは直前1時間の1分間雨量の積算値であり、連続雨量は降り始めからワイヤーセンサー切断時刻までの1分間雨量の積算値です。

※ 連続雨量は3時間（180分間）連続無降雨でリセットされます。

図1 野尻川10分間雨量のグラフ

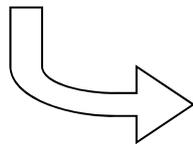


3 土砂堆積状況【野尻川】

写真① 野尻橋から下流を望む（平成 30 年 4 月 16 日 12 時 00 分頃撮影）



(H30. 2. 8 撮影)

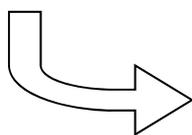


※低水路内に少量の土砂の堆積がある。
4 月 19 日より除石を実施中。

写真② 野尻橋から上流を望む（平成 30 年 4 月 16 日 12 時 00 分頃撮影）



(H30. 2. 8 撮影)



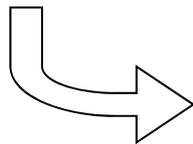
※低水路内に少量の土砂の堆積がある。

4 土砂堆積状況【有村川】

写真① 有村第一橋から下流を望む（平成 30 年 4 月 16 日 11 時 20 分頃撮影）



(H30. 4. 9. 17 時 05 分頃撮影)

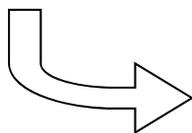


※低水路内に少量の土砂の堆積がある。

写真② 有村第一橋から上流を望む（平成 30 年 4 月 16 日 11 時 20 分頃撮影）



(H30. 4. 9. 17 時 05 分頃撮影)



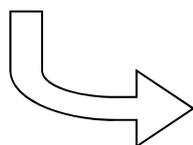
※低水路内に少量の土砂の堆積がある。

5 土砂堆積状況【黒神川】

写真① 第一黒神橋から下流を望む（平成 30 年 4 月 16 日 10 時 20 分頃撮影）



(H29. 9. 22 撮影)

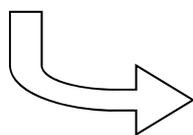


※目視による確認では大きな変化は見られない。

写真② 第一黒神橋から上流を望む（平成 30 年 4 月 16 日 10 時 20 分頃撮影）

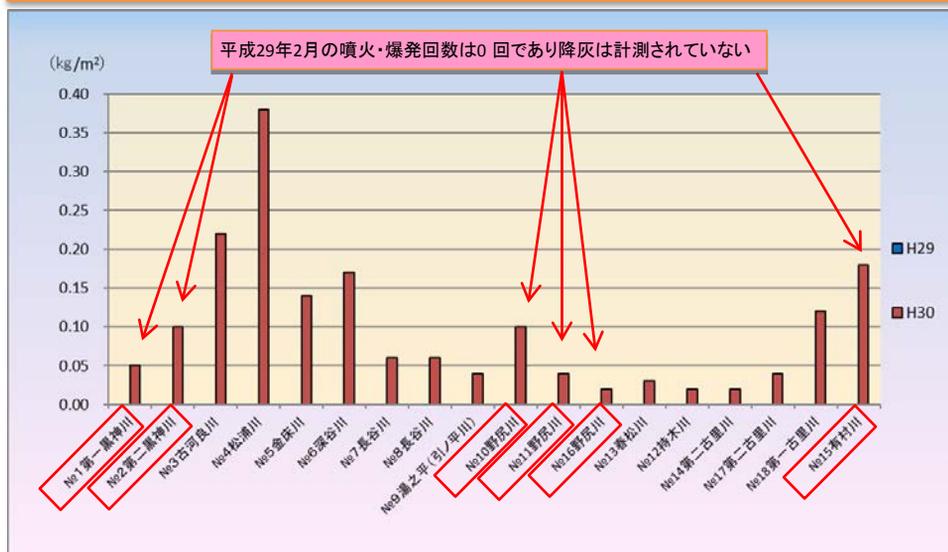


(H29. 9. 22 撮影)

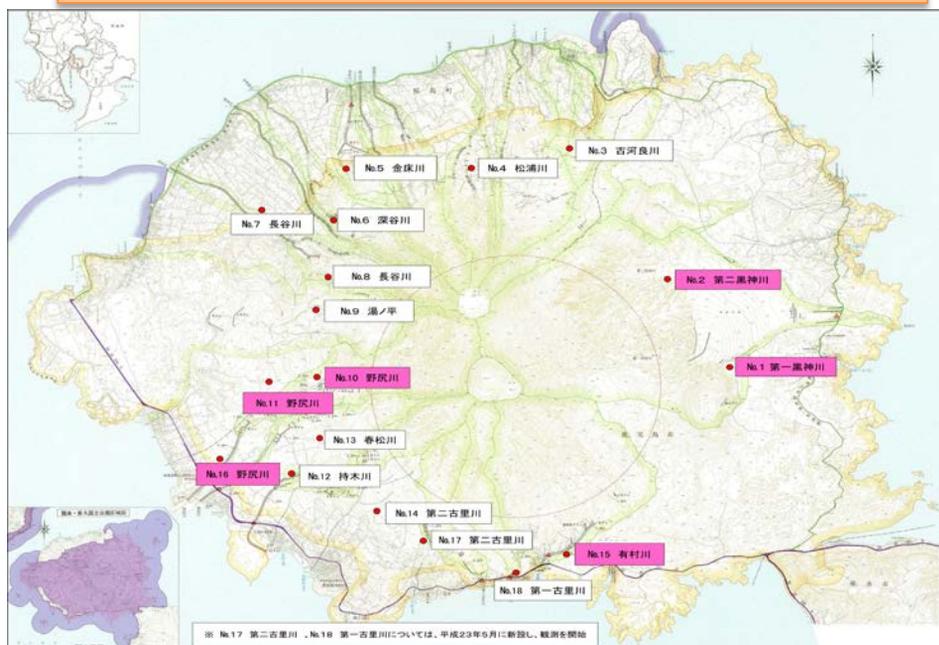


※目視による確認では大きな変化は見られない。

平成29年(2月)及び平成30年(2月)の降灰量比較



降灰観測所 位置図



H23年～H30年 月別土石流発生状況

(単位:回)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	小計
H23年	0	0	0	0	6	5	2	4	1	7	6	0	31
H24年	0	3	5	6	0	11	9	12	2	2	5	0	55
H25年	0	2	0	0	0	5	0	7	9	11	0	0	34
H26年	1	0	2	0	4	11	5	6	2	2	7	1	41
H27年	3	1	2	4	3	15	2	7	3	1	0	4	45
H28年	0	0	0	1	3	12	3	0	6	0	0	0	25
H29年	0	0	0	1	2	5	3	1	5	0	0	0	17
H30年	2	1	1	4									8

※H30年は4月20日時点の数値